

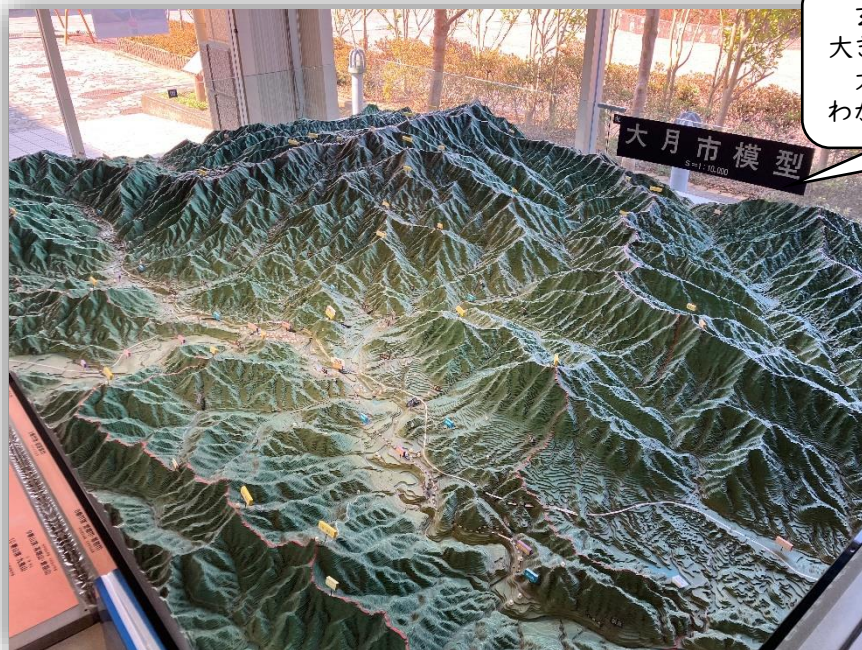
そうだ、大月市郷土資料館へいってみよう。



大月市郷土資料館

大月市郷土資料館では、自由研究のネタとなる大月市の歴史や自然、文化に関する資料を展示しているだけでなく、地域の事柄についての質問に答えたり、研究の進め方についての相談にも乗っています。

展示の見どころを紹介しますので、展示物に興味をもった人や、夏休みの自由研究の課題づくりや調べ方に困っている人は、大月市郷土資料館をぜひともご利用ください。



玄関を入ってすぐのロビーにある大きな大月市の立体地図模型。
大月市の地形の特色が一目でわかるよ。

ロビーの奥には、日本三奇橋の一つとして有名な猿橋のヒミツがわかる展示もあるよ。
下の大きな口を開けている四角い柱は何だろう？



一階展示室の西側には、昭和 30 年代までの日常生活の中で使われていた品々が並んでいる。

右下の筒は、当館自慢のレアな一品。いったい何をする道具だと思う？

昔の暮らしを知ることを通して、今の自分の生活を見つめなおしてみよう。

一階展示室の東側には、大月市の豊かな自然を活かした生業で使われていた道具の数々。

一つ一つの道具にこめられている当時の人々の知恵と工夫がわかるかな？



2階にもたくさんの資料が展示されているよ。

僕もいるから見に来てね。待ってるよ。

裏の体験教室「拓本で作るオリジナル^{しおり}栞」の案内も読んでね。

大月市郷土資料館プレゼンツ

拓本（たくほん）で自分だけの
「オリジナル葉（しおり）」を作ろう！

拓本（たくほん）ってなんだろう？

＼自由研究にもおすすめ！／



でこぼこしたものの模様や文字を紙に写すことだよ。
たとえば、コインや土器（どき）、石碑（せきひ）など、
いろいろなものから拓本がとれるよ！

オリジナル葉（しおり）を作ろう！

〈用意するもの〉 拓本をとりたいもの（今回は土器）、テープ、紙（注1）、水、スポンジ2個（注2）
インク（注3）、はさみ、葉用の厚紙^{あつ}、リボン、穴あけパンチ



①土器に紙をあてて、
テープで固定する。



②濡れたスポンジを
ポンポンあてる。



③乾くまで待つ



④インクをつけたスポ
ンジをポンポンあてる。



⑤もようがでてきたら
紙をはずす。



⑥厚紙を葉の大きさに
切って、拓本を貼る。



⑦穴あけパンチで穴を
あけ、リボンをつける。

完成！



（注1）本来は画仙紙という拓本用の紙を使用します。今回は百元ショップの色付き和紙を使用しています。

（注2）本来はタンポを使用します。（注3）本来は墨拓を使用します。今回は百元ショップのスタンプ用インクを使用しています。

（インクが本につくので、気になる方は⑥の後にラミネートしてください。）

郷土資料館でしおりを作ろう！

大月市郷土資料館で体験教室をおこないます。
市内から出土した縄文土器で拓本を作ってみましょう！

【日時】 令和8年8月8日（土）・9日（日）

【場所】 大月市郷土資料館2階研修室

【費用】 無料

予約は不要です。時間指定などありませんので
ご希望のかたは受付窓口にお声がけください。

＼入館無料！／



【入館受付時間】 9：00～16：30 【休館日】 月曜または祝日の翌日

【お問い合わせ】 大月市郷土資料館 0554-23-1511